

第71回 通常総会

農畜産物支払高 39億9,721万円

本組合の第71回通常総会が5月22日午前9時30分から札幌内コミュニティプラザで開催されました。総会には正組合員177名の内、委任・書面議決を含む121名が出席しました（出席率68%）。

平成30年度事業報告、令和元年度事業計画の設定など6議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「4月から6月上旬までは好天にも恵まれ春先の播種や植え付け作業は順調に進みました。6月中旬から7月中旬にかけては、低温、曇天、降雨が続き作物の生育が停滞しました。その後、一時的に好天が続きましたが、9月に入ると台風による作物の倒伏や、北海道胆振東部大地震に伴う停電の影響による生乳廃棄等、大変大きな被害を受けました。畜産では飼料価格が高止まりの中、生乳取扱量は計画をやや下回りましたが、个体販売では、和牛素牛の価格が堅調に推移いたしました。



このような状況の中で、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて、39億9,721万円、経常利益で9,107万円となり、計画以上の成果を上げる事が出来ました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。」と挨拶しました。引き続き伊藤副町長をはじめ来賓挨拶を戴きました。

30年度当期末処分剰余金1億2百万円、剰余金処分案では出資配当（0・8%）、事業分量配当2千6百万円の明細が示され原案通り承認されました。

令和元年度の収支計画では、事業総利益が5億2千万円、経常利益は4千3百万円、を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については新事務所建築、生産資材POSシステムの導入、組合員FAXの更新、長芋用ハーフコンテナなど原案通り承認されました。

役員を選任議案では理事候補8名、監事候補3名が原案通り選任されました。

幕別町畜産祭り

令和元年度の幕別町畜産祭りが6月6日、南勢牧場多目的広場に於いて開催されました。当日は天候にも恵まれ絶好の共進会日和となりました。町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた乳牛23頭、和牛27頭が出陳され、体型や毛並みを競いました。乳牛（経産）の部で当農協組合員出陳の「シンエイ マダム ヤルジヤン ツルー」が見事、経産牛・準最高位賞に輝きました。



昼食にはバーベキューで参加者同士の交流を深めました。また、毎年恒例の『ジャッジングコンテスト』も行われ、一般の方も牛を間近に見ながらコンテストに参加しました。